



パーソナリティ
藤田和宏

『教育★サプライズ!』
毎週土曜日12:30～

プロフィール

● 松陰高等学校
みなどみらい学習センター センター長

高校中退／不登校の生徒と関わり20余年。
「とりえず卒業」にこだわる親をたしなめながら
『昭和式』教育?に基づいて、生徒らを心から回復させる事に尽力する熱血漢。

子どもが自覚し、親が理解し

―発達障害も乗り越える藤田マジック!―

人間は環境を整えば本来持っている力を発揮できます。もちろん適した環境は人それぞれですが、子どもの力を伸ばすための環境をつくるのが第一歩であり、我々教員が出しやばる前に、まずは親にその責任があると考えています。この業界で25年過ごした私の気づきとしては「出来る子」「出来ない子」とは本来存在せず、前者は能力を開発された子で、後者はそうではない子がいるだけです。それは最近様々な対応法が提示されている「発達障害」に類する子に対しても基本スタンスは同様です。

ある男子生徒N君の話をしてしよう。

N君は発達障害に起因する「コミュニケーション障害」で、小学生時分より酷いじめに合い、中学校では完全に不登校になっていました。親に連れられて私の学校に来るようになったものの、出会った頃は何かと「笑顔の反応」が多く不思議に感じていましたが、これは笑顔でいればとりえず、やり過ごせる、という悲しい経験による防衛行動だったのです。事情を知らない私はいつもの調子で「笑っている人間が一番信用できる」と今から思えば残酷なことを言いましたが、「愛想笑いはいらないー君が本当におかしい時・嬉しい時に笑えたら成長だ!」と言いつけました。

それから2年あまり、N君はいつの間にか「笑われる」のではなく「笑わせる」存在となり、自分の特性もきちんと発信できるようになりました。私の発案で他県の教育委員会主催の発達障害に関する

講演会に登壇し「当事者から見える世界」と題した講演を行ったところ、大変な反響を呼ぶことができました。

現在N君は通信制大で学ぶ傍ら、私の学習センターで非常勤職員として多大なる貢献をしてくれています。彼自身が発達障害を自覚し、保護者もそれを理解し、

その中で見つけた長所を伸ばしてきた結果の「今」なのです。見栄や現実逃避から子どもの「特性」に向き合えない親が多いのが現実ですが、これがいい結果に繋がった例は少なくとも私は度も見ていません。

もちろんN君への対応もすべてが滞りなく進んだわけではなく、本人と親との対話を続けながら試行錯誤した結果であり、これがすべてというわけでもありません。しかし、まずは親が「子どもは必ず変えられる存在」であることを信じて、今できるベストな環境・言葉を与え続けられれば、必ず子どもは次のステージに押し上げることができると確信しています。



空間・施設に調和して景観までも美しく
「防災かまどベンチ」の導入分野が広がっています

更に進化を続ける防災ファニチャー



写真提供: (株)コトブキ



防災かまどベンチ・公園遊具・健康遊具・教育空間用什器備品



株式会社

齋藤商会

TEL: 046-263-4802
住所: 大和市桜森3-10-9

ヘルシーライフの実現は適度な運動とリラクゼーション。
私たちは地域に根ざしたスポーツクラブを目指し、
皆さんのサポーターとなります。



アリーナつきみ野スポーツクラブ

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野2-1-8

TEL 046-272-1717



<http://www.e-atsc.com/>

会員募集中!